

図画工作科学習指導案

題材名 ほって、けずって、ひらめいて ～粘土で自分の気持ちを伝えよう～（8時間）

目 標

- 粘土による造形に関心をもち、自分の思いを意欲的に表現できる。
- 子どもが「なりきり学芸員」となってお互いの作品のよさやすごさを発表し合い、作品のよさを味わう。

学習過程

| 時 | 学習活動 | 教師の支援・留意点 |
|---|--|--|
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> ○三沢厚彦《ANIMALS》の作品と出会う。 ○絵本の読み聞かせを聞き、好きな場面を選ぶ。 ○自分の好きなティラノサウルスを描く。 | <ul style="list-style-type: none"> • 南大門にある運慶の「阿吽の像」と同じ寄木造りや楠の丸太から彫り出した作品など、作品集や本物を見せながら説明する。 • 絵本『であえてほんとうによかった』（宮西達也著 ポプラ社発行） • 描く場面のティラノサウルスを動作化させ、動きを確かめながらイメージカード（画用紙）にティラノサウルスを描かせる。 |
| 4 | <ul style="list-style-type: none"> ○ティラノサウルスを粘土でつくる。 ○イメージカードをもとに、粘土でつくる。 ○芯材（拳くらいのカップや割り箸など）を工夫する。 ○ティラノサウルスの気持ちがもっとみんなに伝わるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> • ハーティカラーピグメント（パジコ）のイエロー・マゼンダ・ブルー・ホワイトを活用。粘土の量を加減しながら混色させる。 • 量感を出したいとかもっと立ち上がっている像にしたいとか、完成イメージに近づけさせるため、芯材を活用した作品を見せ説明する。 • もっと表現したいところを各自で修整し、作品を完成させる。 |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> ○“ティラノサウルス発表会”をする。 | <ul style="list-style-type: none"> • 作品の見どころや工夫したところなど発表したり、友達のおもしろいところやよいところを取り上げ賞賛したりする。 |